

適合性評価で、確かなデータと品質を社会へ

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

適合性評価推進センター

nite

National Institute of Technology and Evaluation
独立行政法人 製品評価技術基盤機構

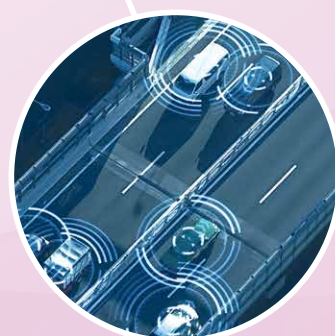
適合性評価がつなぐ信頼、 社会に次の価値を



適合性評価機関

(試験所、校正機関、標準物質生産者、認証機関)





適合性評価産業の 利活用の推進

信頼を「見える化」するためのツールである適合性評価、社会では認証制度などの「適合性評価スキーム」として活用され、身の回りの製品の信頼を支えています。

適合性評価推進センターは、産業界・業界団体、認定機関、標準化機関などのステークホルダーと連携し、適合性評価産業の利活用の推進に取り組んでいます。



受け入れられるルール作りを支援します ～見えない価値を、確かなルールで可視化する～

確かな品質と信頼を支える適合性評価、その利用促進に必要な基盤づくりをサポートします。

適合性評価スキームの構築支援

「何を・どう評価し・どう証明するか」

製品に求められる価値は、品質や安全性だけにとどまらず、環境対応や社会的責任へと広がっています。こうした多様な要求に応えるには、関係者全員が納得できる共通の評価ルール(適合性評価スキーム)が重要です。

国際規格や最新の規制動向を踏まえ、対象に見合った最適なルールの構築をサポートします。



ステークホルダーとの連携

「ネットワーク構築を通じたスキーム活用の促進」

受け入れられるルールとは、すべての関係者にとって公平であることが前提です。産業界・業界団体、認定機関、標準化機関などの国内外の適合性評価のステークホルダーとのネットワークを駆使し、それぞれの立場にとって価値ある適合性評価スキームの構築をサポートします。



適合性評価に関する人材育成・情報発信

「人から広がる、適合性評価の普及を目指して」

適合性評価を活用する第一歩は、基本となる知識の習得です。

より多くの方に適合性評価の活用方法をご理解いただくために、適合性評価スキームの構築を担う人材向けの育成プログラムを開発し、研修を提供するとともに、各ステークホルダーのみなさまに役立つ情報の発信を行います。



法律に基づく事業者の登録・調査

業務概要

以下の制度に基づく事業者の登録・調査を行っています。

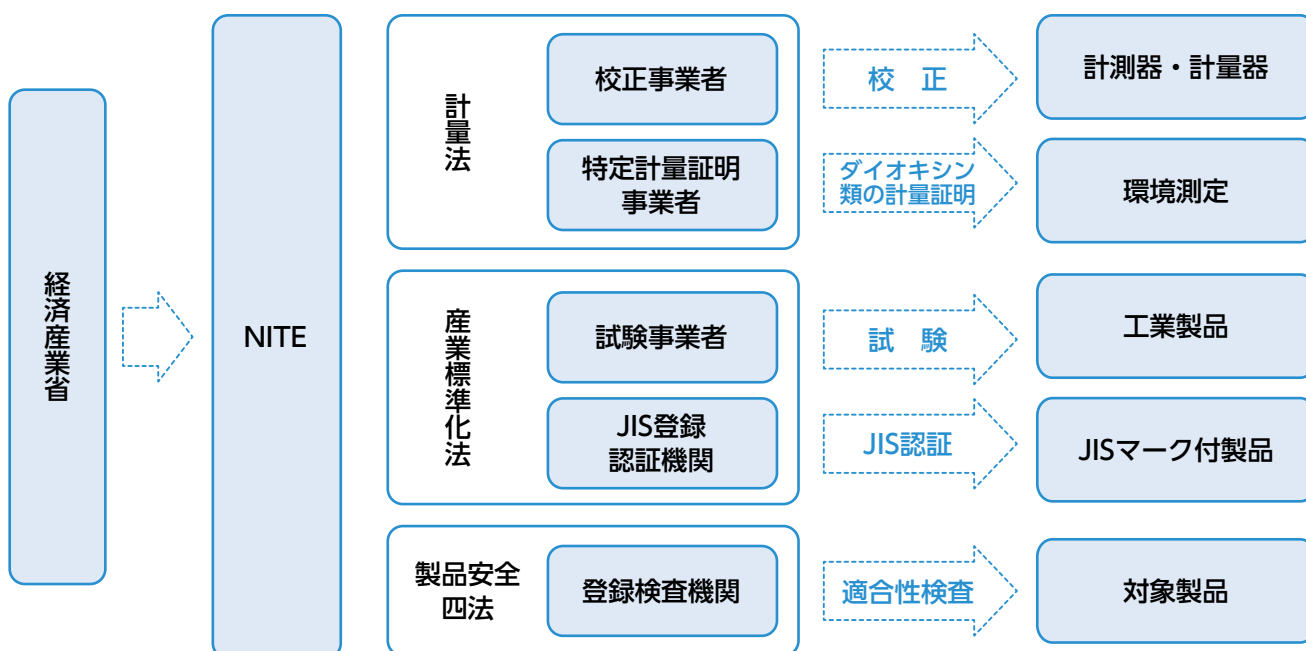
制度名	登録・調査対象	登録・調査基準法令	目 的
計量法校正事業者登録制度 (JCSS ^{*1})	校正事業者	計量法	日本の国家計量標準への計量トレーサビリティを確保した計量器の校正等
計量法特定計量証明事業者認定制度 (MLAP ^{*2})	特定計量証明事業者	計量法	ダイオキシン類などの極微量物質の計量証明
産業標準化法試験事業者登録制度 (JNLA ^{*3})	試験事業者	産業標準化法	日本産業規格 (JIS) に基づく試験の実施
JISマーク表示制度 製品安全四法 ^{*4}	JIS登録認証機関 登録検査機関	産業標準化法 製品安全四法	経済産業省からの依頼を受け各基準に適合しているかの調査等を実施

* 1 Japan Calibration Service System

* 2 Specified Measurement Laboratory Accreditation Program

* 3 Japan National Laboratory Accreditation system

* 4 消費生活用製品安全法 (消安法)、電気用品安全法 (電安法)、ガス事業法、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律 (液石法)



校正機関・標準物質生産者の認定

サービス概要

IAJapanは、計量器の校正を行う校正機関及び、化学分析等の基準となる標準物質を供給する標準物質生産者の信頼性確保のため、その能力を国際規格等に基づき審査し、認定しています。

以下の国際的に通用する認定サービスを提供しています。

認定プログラム名	認定対象	認定基準	目的
JCSS* ¹	校正機関	計量法 ISO/ IEC 17025* ³	日本の国家標準への計量トレーサビリティを確保した計量器の校正を行う校正機関の認定
JCSS* ¹	標準物質生産者	計量法 ISO 17034* ⁴	日本の国家標準に計量トレーサビリティを確保した標準物質を供給する標準物質生産者の認定
ASNITE* ²	校正機関	ISO/ IEC 17025* ³	JCSS以外の国家標準への計量トレーサビリティを確保した計量器の校正を行う校正機関の認定
ASNITE* ²	標準物質生産者	ISO 17034* ⁴	JCSS以外の国家標準に計量トレーサビリティを確保した標準物質を供給する標準物質生産者の認定

* 1 Japan Calibration Service System

* 3 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項

* 2 Accreditation System of National Institute of Technology and Evaluation

* 4 標準物質生産者の能力に関する一般要求事項

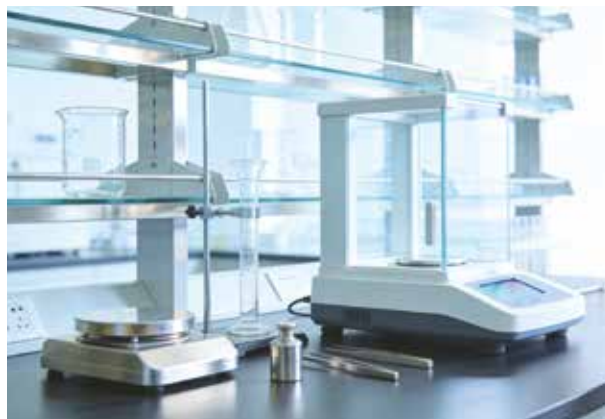


活用事例

IAJapanが認定した校正機関の校正結果は様々な分野で活用されています。詳しくはウェブ公開の活用事例(右記QRコード)をご覧ください。



- (例) ●放射線治療の安全性と治療精度向上に貢献
●はかりの校正の信頼性を確保し、各種産業の品質管理に寄与



サービス概要

IAJapanは、製品等の試験を行う試験所の信頼性確保のため、その能力を国際規格等に基づき審査し、認定しています。

以下の国際的に通用する認定サービスを提供しています。

認定プログラム名	認定対象	認定基準	目的
JNLA* ¹	試験所	産業標準化法 ISO/ IEC 17025* ³	日本産業規格 (JIS) に基づく試験を実施する試験所の認定
ASNITE* ²	試験所	ISO/ IEC 17025* ³	JIS以外の試験規格に基づく試験を実施する試験所の認定

* 1 Japan National Laboratory Accreditation system

* 2 Accreditation System of National Institute of Technology and Evaluation

* 3 試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項

IAJapan

認定

試験所

試験

工業製品等

製品等の
品質確保

活用事例

IAJapanが認定した試験所の試験結果は様々な分野で活用されています。詳しくはウェブ公開の活用事例(右記QRコード)をご覧ください。



- (例) ●工業製品の品質保証に寄与
●環境分析結果の信頼性確保に貢献



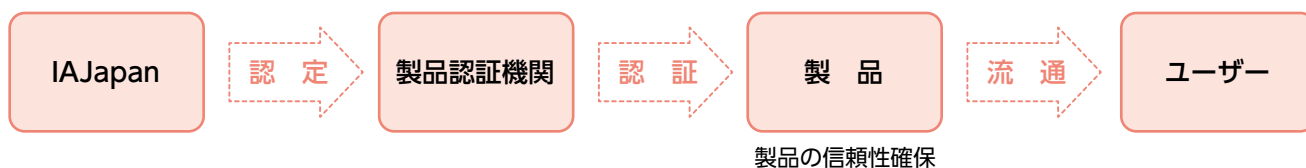
製品認証機関の認定

サービス概要

IAJapanは、製品認証機関^{*1}の信頼性確保のため、その能力を国際規格等に基づき審査し、認定しています。
以下の国際的に通用する認定サービスを提供しています。

認定 プログラム名	認定対象	認定基準	目的
ASNITE ^{*2}	製品認証機関	ISO/ IEC 17065 ^{*3} 各認証スキーム ^{*4} 要求事項	対象製品・プロセスごとの基準に基づく 認証を行う製品認証機関の認定

- *1 製品またはプロセスの認証機関（本ページでは「製品認証機関」と総称する。）
- *2 Accreditation System of National Institute of Technology and Evaluation
- *3 製品、プロセス及びサービスの認証を行う機関に対する要求事項
- *4 認証制度における規則・ルール



活用事例

IAJapanが認定した製品認証機関の認証結果は以下の事例のように様々な分野で活用されています。詳しくはウェブ公開の活用事例(右記QRコード)をご覧ください。



事例1)

Textile Exchange (TE)

コットンやリサイクル繊維などの原料・製造工程が地球環境・動物福祉などに配慮した製品であることを認証マークで識別



事例2)

エコマーク

文具、日用品などが環境負荷の少ない商品であることを認証マークで識別



事例3)

防爆機器

石油・化学プラントなどで、爆発を防ぐために設計された防爆機器(例：スマホ、PC、LEDライト、センサー類など)を国際規格(IEC)に基づき認証



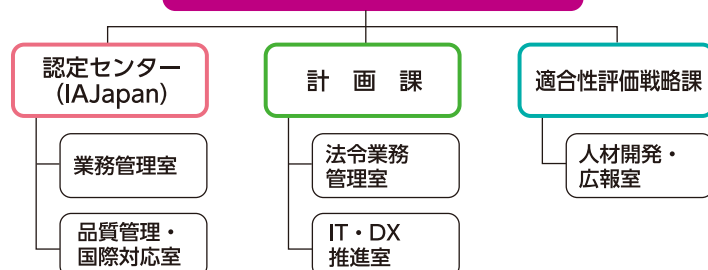
独立行政法人 製品評価技術基盤機構

適合性評価推進センター

〒151-0066 東京都渋谷区西原2丁目49番10号



適合性評価推進センター



計画課

TEL 03-3481-1946

URL <https://www.nite.go.jp/pcca/index.html>



適合性評価戦略課

TEL 03-3481-1948

URL <https://www.nite.go.jp/pcca/sca/index.html>



認定センター (IAJapan)

TEL 03-3481-1938

URL <https://www.nite.go.jp/iajapan/index.html>

